



令和元年度放射線安全取扱部会 年次大会（第60回放射線管理研修会）のお知らせ（3）

令和元年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

令和元年度放射線安全取扱部会年次大会は中国・四国支部が担当します。

本大会の概要を以下に記載いたします。

年次大会概要

○開催日：令和元年10月24日（木）、25日（金）

○会場：倉敷市芸文館

岡山県倉敷市中央1-18-1

○テーマ：現在と過去を整理するのは、未来のためだ

	参加費
年次大会	7,000 円
交流会	6,000 円

プログラムのハイライト

【1日目】

●特別講演Ⅰ「最近の放射線安全規制の動向」

（10月24日 13：30～14：30）

改正 RI 法が9月1日に施行され、改正法令下での規制が始まりました。今後の運用がどうなるか気になるところです。最新の放射線規制の動向を原子力規制庁の放射線規制部門担当官の方に解説していただきます。

●シンポジウムⅠ「放射線事故の初動対応を考える」

（10月24日 14：40～16：10）

「放射線事故の初動対応を考える」というテーマで、事例や対応の体制について紹介します。どの事業所においても放射線事故は起こり得ることとして備える必要がありますが、最初に対応するのは主任者や実務担当者です。机上訓練となりますが、自分の事業所ではどう行動するか（行動できないか）、一緒に考えてみたいと思います。

（1）事例から学ぶこと・火災

（2）事例から学ぶこと・プルトニウム汚染（仮題）

（3）放射性物質事故における消防活動

【2日目】

●シンポジウムⅡ「人形峠ウラン開発の歴史と現状」

（10月25日 9：30～10：40）

岡山県には、原子力発電所の燃料となるウランの採掘、製錬、転換、濃縮等の核燃料サイクルに関する研究開発が行われてきた人形峠環境技術センターがあります。現在は、今後必要とされる廃止措置エンジニアリング、放射性廃棄物処理に関する研究が行われています。なぜウランが産出されるのかといった地学の話題から、センターの紹介、岡山県による環境監視の話題等を通して人形峠のウラン開発の現状を紹介します。

（1）自然界のウランと人形峠のウラン鉱床

（2）人形峠環境技術センターのこれから

（3）人形峠周辺環境放射線等の監視測定について

●シンポジウムⅢ「改正 RI 法令への対応事例など」

（10月25日 10：50～12：00）

この度の改正 RI 法の施行では、予防規程の改正と届出、教育訓練項目の変更が多く、多くの事業所の課題でした。法令改正説明会等では、規制側から届出で終了ではなく、その後の継続的な改善が重要であると指摘されています。そこで、今後の改善の参考のため、このシンポジウムでは、予防規程や教育訓練の改正、見直しの実例を紹介していただきます。また、改正 RI 法のもう一つの柱である防護の話題について、最近の動向を紹介していただく予定です。

（1）予防規程および関連規則改訂の実例

（2）教育訓練の見直し—広島大学の例—

（3）防護規程の策定における論点と着地点

●特別講演Ⅱ（一般公開）「地球惑星物質総合解析システム（CASTEM）の構築と応用：小惑星イトカワ，チェリャビンスク隕石，はやぶさ2」

（10月25日 13：00～14：00）

唯一無二のシステムを構築し小惑星イトカワの微粒子の解析を行った岡山大学惑星物質研究所教授の中村栄三氏に講演していただきます。はやぶさ2の帰還を待ちわびる間，夢のあるご講演で帰還に向けての気分を盛り上げていきたいと思ひます。

●特別講演Ⅲ（一般公開）「原子科学の父仁科芳雄と郷里岡山」

（10月25日 14：10～15：10）

日本アイソトープ協会の生みの親とも言える仁科芳雄は岡山の出身です。生家も会場となる倉敷から近く，空き時間に記念館の見学も十分可能です。同郷の岡山大学特命教授の小野俊朗氏に講演していただきます。

●ポスター発表（ホール1階ロビー）

本年度のポスター会場は，機器展示会場と同じ1階ロビーを使用します。ホール入場のついで，機器展示見学をついでにと何度でも立ち寄りいただければと思ひます。配置もゆったりと取っていますので，発表者とのディスカッションも気兼ねなく行えます。

ポスター掲示：10月24日12：30～

10月25日12：00

ポスター発表時間：10月24日 16：20～17：20

●相談コーナー（ホール1階ロビー）

（10月24日16：20～17：20）

放射線管理業務における疑問や困りごと等につい

て，ご相談をお受けいたします。放射線管理・取扱い，法令，RI供給・廃棄等幅広い分野でお受けいたします。お気軽にお立ち寄りください。

●機器展示（ホール1階ロビー）

放射線関連サービス会社，製品メーカーによる様々な展示を行います。各企業の最新情報を知ることができる貴重な機会です。お時間の許す限り，何度でもお立ち寄りください。

10月24日 11：30～17：30

10月25日 9：10～12：00

書籍コーナー（ホール1階ロビー）

10月24日 13：30～16：30

10月25日 9：10～13：00

日本アイソトープ協会出版の書籍展示があります。

交流会（ロイヤルアートホテル）

10月24日 18：00～20：00

倉敷市芸文館近隣のロイヤルアートホテルにて交流会を開催いたします。なお，会場の広さの関係で，交流会参加人数に制限がございます。交流会に参加希望の方は，事前登録をお願いいたします。定員に達した場合はお断りをする場合もございますのでご了承ください。

【連絡先】

○放射線安全取扱部会事務局

日本アイソトープ協会 学術課

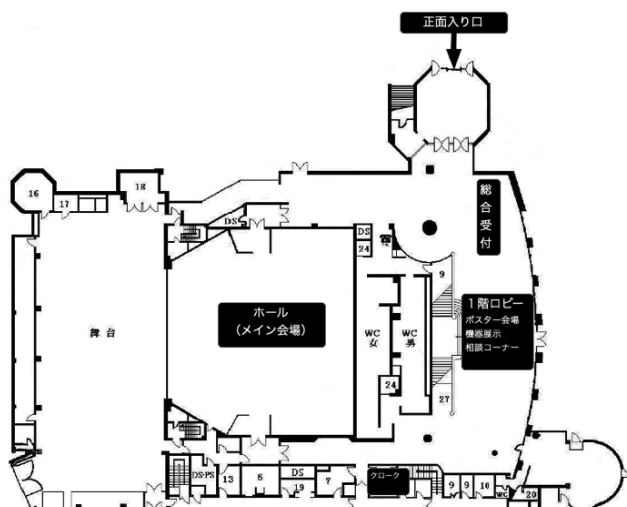
☎ 113-8941 東京都文京区本駒込2-28-45

☎ 03-5395-8081 FAX 03-5395-8053

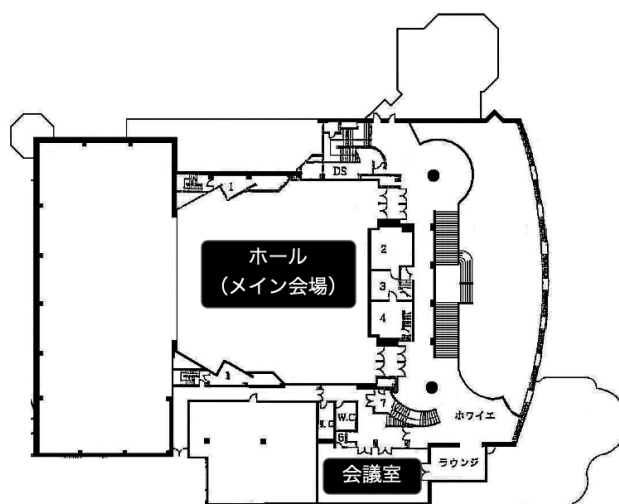
E-mail gakujuitsu@jrias.or.jp

会場レイアウト

1 階

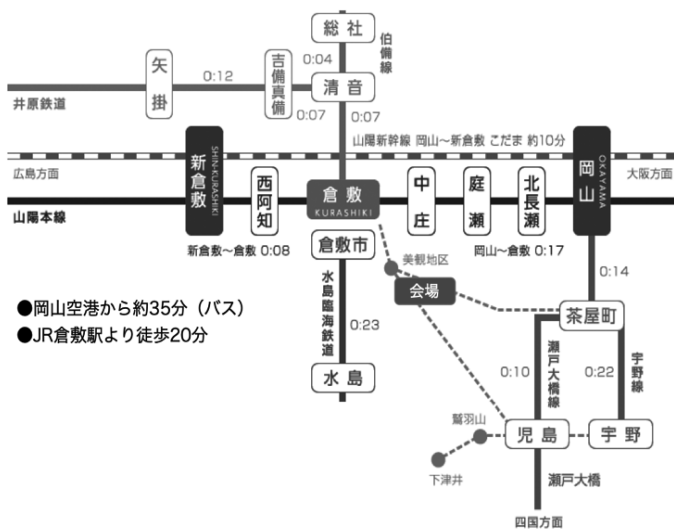


2 階

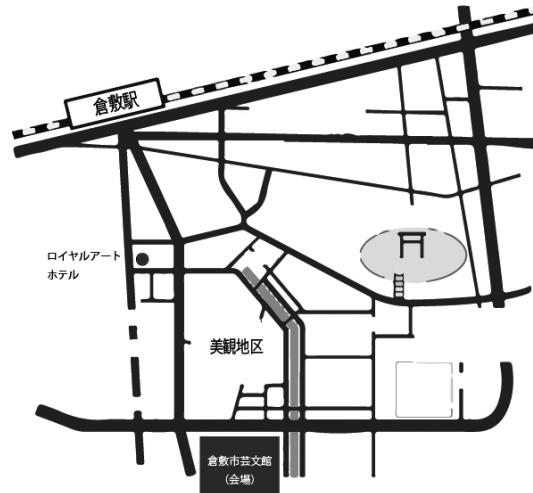


アクセス

● JR 新幹線, 在来線によるアクセス



●最寄り駅から会場まで (徒歩 20 分)



令和元年度放射線安全取扱部会年次大会（第60回放射線研修会）

○日 時：令和元年 10 月 24 日（木）12：20 ～ 25 日（金）15：40

○会 場：倉敷市芸文館（〒710-0046 倉敷市中央 1-18-1）

○交流会：倉敷ロイヤルアートホテル

プ ロ グ ラ ム

○1日目 10月24日（木）

時 間	ホール	他会場
11:00～ 11:30～	参加受付（1階ロビー） 開場	クローク （ホール楽屋） 11:30～17:30
12:20～13:20（60）	開会・部会総会 令和元年度 放射線安全取扱部会 表彰式 （功労表彰・放射線安全管理奨励賞）	機器展示 （1階ロビー） 11:30～17:30
13:20～13:30（10）	休憩	書籍コーナー （1階ロビー） 13:30～16:30
13:30～14:30（60）	特別講演Ⅰ 「最近の放射線安全規制の動向」（仮題） 未定（原子力規制庁） 座長 花房直志氏（岡山大学）	相談コーナー （1階ロビー） 16:20～17:20
14:30～14:40（10）	休憩	ポスター発表 （1階ロビー） ・発表者は13:30までに貼り終え、 翌日12:00まで掲示
14:40～16:10（90）	シンポジウムⅠ 「放射線事故の初動対応を考える」 （1）事例から学ぶこと・火災 角山雄一氏（京都大学） （2）事例から学ぶこと・プルトニウム汚染（仮題） 百瀬琢磨氏（日本原子力研究開発機構） （3）放射性物質事故における消防活動 早川卓也氏（総務省消防庁） 座長 中西 徹氏（就実大学）	
16:10～16:20（10）	休憩	
16:20～17:20（60）	ポスター発表（1階ロビー） 相談コーナー	
17:20～18:00（40）	移動	
18:00～20:00（120）	交流会（ロイヤルアートホテル）	

○2日目 10月25日(金)

時 間	ホー ル	他会場
9:00～	参加受付 (1 階ロビー)	ク ロ ー ク
9:10～	開場	(ホール楽屋)
9:30～10:40 (70)	シンポジウムⅡ 「人形峠ウラン開発の歴史と現状」 (1) 自然界のウランと人形峠のウラン鉱床 武智泰史氏 (倉敷市立自然史博物館) (2) 人形峠環境技術センターのこれから 日野田晋吾氏 (日本原子力研究開発機構) (3) 人形峠周辺環境放射線等の監視測定について 二階堂日出伸氏 (岡山県環境保健センター) 座長 北 実氏 (鳥取大学)	9:10～16:00 機器展示 (1 階ロビー) 9:10～12:00 書籍コーナー (1 階ロビー) 9:10～13:00
10:40～10:50 (10)	休憩	
10:50～12:00 (70)	シンポジウムⅢ 「改正 RI 法令への対応事例など」 (1) 予防規程および関連規則改訂の実例 寺東宏明氏 (岡山大学) (2) 教育訓練の見直し—広島大学の例— 中島 覚氏 (広島大学) (3) 防護規程の策定における論点と着地点 保田浩志氏 (広島大学原爆放射線医科学研究所) 座長 三好弘一氏 (徳島大学)	ポスター発表 (1 階ロビー) 9:10～12:00 まで掲示 * 13:00 以降に貼ってあるポスター は実行委員会で処分します。
12:00～13:00 (60)	昼食休憩	
13:00～14:00 (60)	特別講演Ⅱ (一般公開) 「地球惑星物質総合解析システム (CASTEM) の 構築と応用：小惑星イトカワ・チェリャビンスク 隕石・はやぶさ 2」 中村栄三氏 (岡山大学惑星物質研究所) 座長 寺東宏明氏 (岡山大学)	
14:00～14:10 (10)	休憩	
14:10～15:10 (60)	特別講演Ⅲ (一般公開) 「原子科学の父仁科芳雄と郷里岡山」 小野俊朗氏 (岡山大学) 座長 増田晴造氏 (愛媛大学)	
15:10～15:20 (10)	休憩	
15:20～15:40 (20)	大会のまとめ 次回大会紹介 閉会	



ポスター発表申込み一覧

分類	番号	表題	氏名(所属)
施設管理・運用・リスク	A-01	放射線治療室に最適なセラミックス遮蔽材の紹介	森宏行 (三石耐火煉瓦(株))
	A-02	高密度セラミックス (RASHIX) を用いた放射線治療施設の施工経験	大岡義一, 奥洋平 (大船中央病院), 森宏行 (三石耐火煉瓦(株))
	A-03	自動投与装置を用いた PET 検査薬投与時における看護師の被ばく線量 (慶應義塾大学病院の場合)	片岡賢英, 井上浩義 (慶應義塾大学)
	A-04	長半減期同位体 ^{144}Nd が安定同位体として非密封 RI 施設に持ち込まれた事例の報告	鈴木智和, 高橋賢臣, 青井考 (大阪大学)
	A-05	R I 貯留槽改修工事後の攪拌状況の改善と排水測定業務向上の提案	小坂尚樹, 桧垣正吾, 和田洋一郎 (東京大学)
	A-06	ガンマカメラを用いたサイクロトロン放射化物の評価	宮司典明, 茂木一樹, 滝口智洋, 寺内隆司, 小泉満 ((公財) がん研究会有明病院)
	A-07	筑波大学 6MV タンデム加速器ビームラインの放射線サーベイ	松村万寿美, 森口哲朗, 笹公和, 上殿明良 (筑波大学)
教育訓練・啓発活動	B-01	原子力規制人材育成を活用した現場で使える学校教員向け放射線教育プログラムの開発	大矢恭久, 奥野健二, 萱野貴広 (静岡大学), 森健一郎, 尾関俊浩 (北海道教育大学), 福田善之 (宮城教育大学), 宮本直樹 (茨城大学), 中村琢 (岐阜大学), 栢野彰秀 (島根大学), 庭瀬敬右 (兵庫教育大学), 栗田高明 (鳴門教育大学), 内ノ倉真吾 (鹿児島大学), 清水洋一, 濱田栄作 (琉球大学), 寺本秀一, 小長谷幸史 (新潟薬科大学), 重松宏武 (山口大学)
	B-02	市販試薬を用いたチーム基盤型学習による放射線・放射能教育の提案について	藤野秀樹 (兵庫医療大学)
	B-03	教育用カードゲーム「DUO × DUO (デュオデュオ)」による放射線教育への展開	岩崎智之 (愛媛大学), 加藤太一 (日本科学技術振興財団)
	B-04	紅茶の「茶葉」で放射線源を作る	河野孝史 ((株) 日本遮蔽技研)
	B-05	放射性試薬の安全取扱いガイド (第2版) の作成〜RI をはじめて使うひとのために〜	松岡千代美, 津國浩之, 三井美玲 ((公社) 日本アイソトープ協会), 嘉村奈美 ((株) パーキンエルマージャパン), 松波圭一 (順天堂大学), 原正幸 (東京医科歯科大学), 加藤真介 (横浜薬科大学), 飯塚裕幸 (東京大学)
	B-06	スキルマップを用いた人材育成計画	藤島おかり, 川原千春, 北岡麻美, 鈴木健二, 永井明, 脇谷雄一郎 ((公社) 日本アイソトープ協会)
	B-07	日本アイソトープ協会のインビボ基礎研究領域への取り組み〜新たな短半減期核種の供給〜	津國浩之, 三井美玲, 北岡麻美, 中村伸貴, 米倉義晴, 山下孝 (公社) 日本アイソトープ協会)
	B-08	大学生実践放射線教育のためのインターンシップ企画とその成果	加藤明子 (オリオン・ラドセーフメディカル(株)), 杉山和幸 (理化学研究所), 齋藤凜太郎, 高橋朋基, 小池裕也 (明治大学)
	B-09	放射線取扱現場で得た知見を大学研究室に展開する試み	高橋朋基, 齋藤凜太郎, 小池裕也 (明治大学), 加藤明子 (オリオン・ラドセーフメディカル(株))
分科会・委員会・支部報告	C-01	企画専門委員会の活動 - 令和元年教育訓練講習会アンケート調査結果とその考察 -	放射線安全取扱部会 企画専門委員会
	C-02	放射線取扱施設における安全管理技術の継承分科会活動報告 2019	放射線取扱施設における安全管理技術の継承分科会
	C-03	近畿支部活動の紹介	放射線安全取扱部会 近畿支部
	C-04	分科会 PET 施設管理研究会の活動報告	PET 施設管理研究会
	C-05	教育訓練のモデル時間数等検討分科会活動報告	教育訓練のモデル時間数等検討分科会
環境放射能・その他	D-01	福岡大学 RI センター実験施設におけるラドン濃度測定に関する研究 2	川井妙子, 山川博文, 川田知, 加留部善晴 (福岡大学)
	D-02	アルファ線内用療法薬である塩化ラジウムの利用紹介と治療効果からみえる課題	門前暁 (弘前大学), 真里谷靖 (むつ総合病院), Lovisa Lundholm, Andrzej Wojcik (ストックホルム大学)
	D-03	公益社団法人日本アイソトープ協会における第2種放射線取扱主任者講習について	植竹修士, 浅野夏海, 吉田亨, 中村美和 ((公社) 日本アイソトープ協会)